



八戸市は

令和3年度も

重要文化財

是川遺跡出土品の保存修理を

を行っています



修理が完了した出土品

八戸市では、重要文化財「青森県是川遺跡出土品」を美しく安定した状態で後世に伝えるため、保存修理を行っています。

令和3年度までに137点の修理を行い、縄文時代の造形美や工芸技術を鑑賞できる状態に整えました。

修理前

口縁が欠けている



亀裂が入っている

つぼがたどき
壺形土器
(令和3年度修理)

修理後

欠けた部分を復元



亀裂を補修

壺形土器

接着剤が白く変色



じゅひせいようき
樹皮製容器
(令和3年度修理)

小さな穴が空いている

変色した
接着剤を除去



樹皮製容器

お問い合わせ 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 八戸市大字是川字横山1

TEL: 0178-38-9511 ホームページ: <https://www.korekawa-jomon.jp>

重要文化財「青森県是川遺跡出土品」とは

これかわ いせき
是川遺跡のうち、縄文時代晩期（今から 3000
～2300 年前）を中心とする中居遺跡は、泉山岩
次郎・斐次郎兄弟によって大正9(1920)年から発
掘され、完全な形を保った土器などととも木器・
木製品・漆製品など植物質遺物が出土しました。

これらの出土品のうち、昭和 37(1962)年に
633 点が重要文化財に指定されました。また、八
戸市による平成5・11～16年の発掘調査で出土
した 330 点が、平成 23(2011)年に追加指定さ
れ、重要文化財の数は 963 点となりました。



壺形土器



樹皮製容器残欠



ヤス軸柄

重要文化財 青森県是川遺跡出土品
(一部)

重要文化財の保存修理について

八戸市では現在、国庫補助金の交付を受け
「(重文) 青森県是川遺跡出土品ほか美術工芸
品保存修理事業」を進めています。

是川遺跡出土品の中には、欠損部や脆弱な部
分があり、修理や補強を必要とするものがありま
す。特に、漆製品や木製品は形状が変化しやす
いため、適切な修理を行い、安置するための保存
台を作成する必要がありました。

保存修理により、安全に展示公開することが可
能となりますが、後世に受け継ぐため、今後も経
過観察を続けます。

是川遺跡出土品 保存修理の記録
(平成24年から令和3年まで)

	土器・ 土製品	木器・ 木製品	漆製品	石器・ 石製品	計
平成 24(2012) 年度	2	5	3		10
平成 25(2013) 年度	3	4	2	1	10
平成 26(2014) 年度	5	2	4		11
平成 27(2015) 年度	1	3	5		9
平成 28(2016) 年度	1	6	3		10
平成 29(2017) 年度	3	1	5		9
平成 30(2018) 年度	6	6			12
令和元(2019) 年度	7	12			19
令和 2(2020) 年度	2	4	9	21	36
令和 3(2021) 年度	3		8		11
総計	33	43	39	22	137

保存修理の作業のようす (壺形土器・樹皮製容器残欠の場合)



発掘調査報告で行った仮修理を一度解体しています。
その後、歪みのないように再び組み立て、欠けている部
分は樹脂で補います。



樹皮製容器に開いていた穴が広がったりヒビにつなが
らないよう、樹脂で埋めることにより全体を補強します。
その後、樹脂で補った部分が自然に見えるよう、色を塗
って仕上げます。